

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



《写真説明》

＜長沼町の風景＞

左は北長沼小学校校舎
(来春統廃合で閉校します)

INDEX

- P1: 巻頭言
- P2: ヒューマントラスト 会費・集金
- p3: ↓ / 自治体との文書など
- p4-5: NPO 総会/資料
- p6: スクール新学期
- p7: ↓ 連休企画・農業スタート
- p8: ↓ 初等部、カレンダー、後記
- 【学校設立】パンフ・他

「新しい小学校を『市民立』で設立しよう！」

～長沼町と「協定書」締結、2021年度開校～

認定NPO法人 理事会

前号では、自由な小学校をつくる会代表の「細田レポート」と自治体内定を案内しました。

今度、予てより交渉を重ねてきました長沼町の応諾を得て、地元小学校施設貸与を主文とする「協定書*1」 5月1日付けで取交したことを発表します。 *注1: その概要、当方提案はp3にて

昨年早期に自治体*2 窓口と趣旨説明を行い、検討を重ねる中で戸川町長さん面談により方向性が示されました。その後、役場による地元説明会を約 10 回程、後半は私共も参加して学校理念・教育を通じた地域づくりの趣旨・様々な疑問などへの説明を直接行いながら、地元住民の理解を頂いて今回の到達となりました。 *注2: 当初、別自治体含め打診、昨年後半より加速し年明けに骨格調整

この数年来の「ゆきのさと小中学校」設立運動は、ようやく第2ステージに入ります。同封の新しいパンフレット「ともに『市民立』の学び舎を！」には、呼掛け人に映画監督・山田洋次さん、音楽評論家・湯川れい子さんを始め数十人の方々*3が連ねて下さいました。これから秋までに学校法人の基本財産＝約2億円を募っていきます。仮に1万人が1万円拠出(予約含、一人10万円では1,000人)で1億円です。『市民立』とは、本気＝共感して頂く1万人を創造する事業です。22年前に掲げた「自由が丘ヒューマントラスト」は、知床自然保存運動に倣って【人育て・未来づくりを共同の力で実現】したいとの思いでした。 *注3: 従来支援者+子育て中の父母・教育関係・市民活動者が多数です

NHK5/9 放映で区立廻町中学の「学力テストなし、宿題なし、担任なし」が紹介されました。きのくに子どもの村学園を彷彿させますが、校長方針による既存システム改善は例外的であり、現在の教育行政の競争過多～学歴・管理主義的価値観は様々な弊害をもたらし、国連からも懸念されています。それに対置して1997年(拓銀倒産年)に故鈴木秀一さんらが先導した、北海道発の【自由と協同の学び舎・人間形成的教育】を、改めて開花させるチャンスが到来しています。

MOMO3号に例えて表現するならば、「未来は変えられる。但し私達次第、一人ひとりがMOMOになれるか」です。ともに、この新しい学校づくりを進めていきましょう。